

ジュニアの部 大賞

まだまだ

一年 石原蒼将

金魚はどうしておよぐんだろう
なんでおよぐんだろう
水の中をいつたりきたり
尾をゆらして
きつと食べ物をさがしているんだ
のぞきこむとよってくる
目を輝かせて
まだ まだ
食べたりないのかな
とんぼはどうしてとぶんだろう
なんだとぶんだろう
水の上をいつたりきたり
羽をはばたかせ
きつとほこらしいんだ
うれしそうにとんでゆく
高く 高く
まだ まだ
とびたりないのかな

(抜粋)

第22回島根県民文化祭文芸作品
一般の部 知事賞及びジュニアの部 大賞 作品と選評

【詩】

『まだまだ』 石原 蒼将

題が素敵ですね。作品の中でも二回使われていますが、「まだ」を重ねて独立した一行にしたところが大正解です。金魚とトンボを愛情を持ってよく観察しているようすが窺えます。